

果樹産地での農地流動化

—和歌山県JAありだの取組み—

研究員 宮田夏希

1 樹園地は流動化が難しい

高齢によりリタイアする農家が多くなっているなかで、リタイア農家の農地を他の農家に流動化させることが課題となっている。農地の流動化とは、売買や貸借によって農地の権利を移転することを意味している。農地のなかで、樹園地は水田や畑に比べて流動化が遅れている。その要因の一つに、果樹は毎年作付けを行うコメや野菜と異なり、樹体を手入れしながら毎年の収穫を行うため、土地だけでなく樹体の状態も考慮する必要があることが挙げられる。

樹園地の流動化を推進している事例として、「有田みかん」のブランドで知られるミカン産地を管内とする、JAありだの取組みを紹介する。

2 借入・貸出の希望を登録してマッチング

JAありだでは、営農販売部に配置されている農地流動化担当者と営農センター職員が連携しながら、農地貸借の斡旋に取り組んでいる。2014年度より、農家が貸出を希望する農地の情報と農地の借入れを希望する農家の希望条件の登録を行っており、条件をもとに農地のマッチングを進める体制となっている。18年度中は、貸出希望として16.8haの農地が登録されていた。なお、このなかには前年度までに登録されて借り手が見つからずに繰越された農地も含まれている。登録農地を地目別にみると、水田2.0ha、畑0.6ha、樹園地

14.2haで、ほとんどが樹園地である。

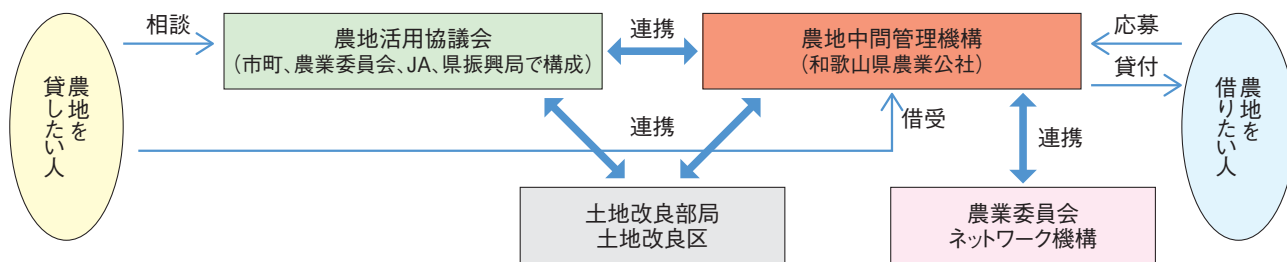
農地の借入・貸出の希望は、JAの営農センターに相談があると随時情報を登録している。JAありだには5つの営農センターがあり、農地の相談窓口となっている。JAは地域の農地の借り手と貸し手を引き合わせる仲人のような役割を担っており、マッチングの結果、18年度は10haほどの樹園地の貸借成立につながっている。

3 耕作放棄期間を出さないことが鍵

樹園地のマッチングを成功させるにあたって特に重要となるのが、樹園地が耕作中の段階で貸借につなげることである。貸出希望として登録される樹園地のなかには、耕作されないまましばらく放っておかれていて、荒れてしまっている土地もある。そのような樹園地はもとの状態に戻るのが大変なため、借り手を見つけることが難しくなってしまう。一方で、耕作中の樹園地については、ほとんどの場合すぐに借り手が見つかっている。

そこで、JAでは、樹園地が耕作放棄地になる前に貸出の相談をしてもらえるように取り組んでいる。例えば、ミカンの収穫が終わったタイミングでミカン作りを引退しようと思う農家が多いことから、収穫後の時期にあたる2～3月頃に各営農センターで農地相談会を実施している。それとともに、農地流動化担当者が地域を見て回り、営農をやめそうな人には、やめるときはすぐにJAに相談してほ

第1図 和歌山県の農地中間管理事業の推進体制



資料 和歌山県農業公社webページを基に筆者作成

しいと伝えている。

さらに、農地の貸借の相談を増やすため、JAを通して農地の貸借を行う借り手・貸し手に対し、JAの予算から助成金を出している。組合員には、流動化を進めて農地を守るための助成金ということで、JAの予算を使うことを納得してもらっている。

4 契約手続きのサポートも重要な仕事

樹園地のマッチングだけではなく、JAでは貸借の契約手続きのサポートも行っている。

貸借の権利設定は、国の政策のもとで実施されている農地中間管理事業を活用して進められることが多い。和歌山県では、農地中間管理機構と「農地活用協議会」などが連携して同事業を実施する体制となっている(第1図)。農地活用協議会は、市町、農業委員会、JA、県振興局で構成され、地域ごとに設置されている。農地活用協議会では、農地の貸し手・借り手に問題はないか、国の補助金の受給対象に該当するかなど、貸借内容の確認を行う会議を行っている。

協議会での確認が終わると、書類を作成して農地中間管理機構に申請する必要がある。その際、JAは書類作成のサポートを行っている。書類の作成を面倒に思う農家も多いため、



機械化の難しい傾斜地にあるミカン園(筆者撮影)

そのようなサポートも重要な仕事の一つとなっている。

5 いかに優良園地を残していくか

JAありだは、農業振興計画のなかで、ミカンの生産基盤を維持していくために樹園地の流動化に取り組むことを掲げている。しかし、ミカンは手間をかけて管理する必要があることから、現状で手いっぱいとなっていてこれ以上の規模拡大は難しいという農家も多い。特に、JAありだ管内のミカン園はほとんどが急傾斜地に立地しているという特徴があり、機械化によって省力化を進めることが難しい状況にある。そのようななか、JAでは、今後は立地条件の良い樹園地を戦略的に残すことも検討していく必要があると考えている。

(みやた なつき)